

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	平城宮跡地等整備費	担当部局庁	文化庁	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和40年度	担当課室	記念物課	記念物課長 矢野和彦			
会計区分	一般会計	施策名	X II - 2 文化財の保存及び活用の充実				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	文化財保護法第1条	関係する計画、通知等	・飛鳥地方における歴史的風土及び文化財の保存等に関する方策について(昭和45年12月18日閣議決定) ・特別史跡平城宮跡保存整備基本構想(昭和53年) ・特別史跡平城宮跡保存整備基本構想推進計画(平成20年)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平城宮跡の土地の買上げについては、昭和37年に宮跡全体を国有地化する方針が決定され、藤原宮跡及び飛鳥地区については、「飛鳥地方における歴史的風土及び文化財の保存等に関する方策について」によって国有地化の方針が決定されている。さらに、国有地化された平城宮跡の整備については、昭和53年に文化庁において定めた「特別史跡平城宮跡保存整備基本構想」に基づき、特別史跡に指定され、歴史的、学術的に貴重な価値を有する重要な遺跡であること及び、広大な地域を占めて保全されている国民的文化遺産であることに鑑み、遺跡博物館としてのまとまりのもと、東院庭園、朱雀門等の復原、第二次大極殿院地区の整備等を行ってきた、また、藤原宮跡等についても、歴史的、学術的に貴重な価値を有する重要な遺跡として環境整備等を実施してきたところである。今後も、既存施設の維持・管理、未整備地の整備等を行い、我が国の歴史、文化、伝統を次世代に継承するものである。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	特別史跡平城宮跡及び特別史跡藤原宮跡等を良好な状態で保全を行うための防災設備の設置など、各種工事や整備を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	75	145	143	178	111
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	11	0	△ 116	116	
		計	85	145	27	294	111
	執行額	81	197	15			
	執行率(%)	95.3%	135.9%	55.6%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	平城宮跡、飛鳥・藤原宮跡を良好な状態で保全するための各種工事及び整備事業であることから、定量的な成果目標を設定することは困難である。	成果実績					
		達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	平城宮跡、飛鳥・藤原宮跡を良好な状態で保全するための各種工事及び整備事業の実施。	活動実績(当初見込み)	件	5	7	3	—
					(4)	(3)	
単位当たりコスト	5 (百万円/件)	算出根拠	執行額/工事件数 15百万円/3件				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	施設施工旅費	2	2	「平城宮跡園路等改修工事」竣工による減など			
	施設施工庁費	29	20				
	平城宮跡地等整備費	148	89				
計	178	111	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	年度当初4工事を計画していたが、東日本大震災等の影響により、資材が調達できず全ての工事が行えなかった。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>平城宮跡および藤原宮跡は、歴史的、学術的に貴重な価値を有する重要な遺跡として環境整備等を実施してきたところである。各種整備については、史跡の状態により必要な整備を計画的に実施するとともに、実施にあたっては一般競争入札により請負業者を選定するなど、コスト削減に努めている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、国有地化された平城宮跡地等について、既存施設の修理・修復や未整備地の整備等を国が直接実施する事業であり、長期継続事業の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：本事業は長年にわたり実施されてきているが、国有地化した平城宮跡地を適正に維持管理する上で、必要な整備を長期的に実施するものであり、整備規模の適正化やコスト縮減に留意しつつ、効果的・効率的な整備の実施に努めることとし、現在の事業内容を引き続き維持すべきである。</p> <p>なお、競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>契約に当たっては、仕様書の見直し、適切な公告期間の確保等により、競争性、公平性、透明性の確保を図った。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p></p>			

文化庁
15百万円

施設施工旅費 1百万円
施設施工庁費 1百万円 } を含む

〔特別史跡平城宮跡、飛鳥地方及び
特別史跡藤原宮跡等の整備〕

【一般競争入札・請負】

A
有限会社大東・藤谷建築設計事務所
6百万円

〔平城宮跡復原施設の防災設備設
計〕

【一般競争入札・請負】

B
株式会社尾田組
5百万円

〔特別史跡山田寺跡の水路改修
〕

【随意契約・請負】

C
奈良ヤンマー販売株式会社
2百万円

〔特別史跡藤原宮跡醍醐池周辺フェ
ンス設置工事〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）	A.有限会社大東・藤谷建築設計事務所			C.奈良ヤンマー販売株式会社		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務費	復原施設防災設備設計	6	工事費	材料費、フェンス設置工事費	2
	計		6	計		2
		B.株式会社尾田組			D.	
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	工事費	雨水排水整備、園路広場整備	3			
	管理費	現場管理、一般管理等	2			
	計		5	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	有限会社 大東・藤谷建築設計事務所	特別史跡平城宮跡復原施設等防災設備整備設計業務	6	1	91.7%

支出先上位10者リスト

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 尾田組	特別史跡山田寺跡水路改修工事	5	2	77.9%

支出先上位10者リスト

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	奈良ヤンマー販売株式会社	特別史跡藤原宮跡醍醐池周辺フェンス設置工事	2	随意契約	100.0%